

平成二十八年年度 入学試験（平成27年11月7日）

「国語総合」

戸田中央看護専門学校

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

今の日本の社会は、一見すると、これほど自由な社会はないと思います。宗教的な束縛がありません。身分制度もないし、一も豊かで、カネがあれば、欲しいものも手に入ります。

しかしそのように自由な社会であるにもかかわらず、どこかでみんなが束縛感や息苦しさを覚えているのもまた事実です。それはどうしてなのでしょう。

ある学者によると、自由というのは、今そこにあるものだけでなく、<sup>(注1)</sup>潜在能力（ケーパビリティ）がある社会こそが、真の意味での自由な社会だということです。

どういふことかというのと、今、自分はその選択はしていないけれど、将来の潜在的な可能性として、いくつかの選択（あ）しを自由にチョイスできると、多くの人々が確信を持てる社会ということです。つまり（A）選択の複線化が可能である社会ならば、それは潜在能力のある社会ということになります。

ところが、そのケーパビリティが断たれている社会というのは、一見、自由のようであっても非常に息苦しい。なぜなら敗者復活戦が難しいから。人生の選択の複線化が（B）困難で、一度、失敗したら、それで終わりになってしまうからです。

そうすると、ある仕事を与えられたとき、失敗が怖いので、枠からはみ出して冒険しようという気になかなかありません。その枠の中でしか生きられないので、息苦しさを感じてしまうのです。

日本で<sup>(注2)</sup>自殺者が増加しているのも、これと関係があると思います。今日本では一年に約三万二〇〇〇人、一日約九〇人、一時間あたり約四人の自殺者が出ています。たとえば四〇代、五〇代の人が事業に失敗したとき、敗者復活戦が許されているならば、人は自殺を選ばないと思います。でも、今の日本は次の展望がみえてきません。だから自殺に追い込まれてしまうのです。

また、主婦の中には、「家事や子どもの面倒を見るのに忙しくて、自由がまったくなく」と不平をもちます。主婦の中には、「家事や子どもの面倒を見るのに忙しくて、自由がまったくなく」と不平をもちます。主婦の中には、「家事や子ども

一方、ケーパビリティが生かされる社会であれば、自分が自由に選択した、あるひとつのことがあつて、そこで生きていく一方、もしかしてほかの潜在的な可能性が自分にもある、またあり得るのではないかと思ひ、それを自分で自己実現できる、そういう社会なわけです。もちろん、実際はそんなにうまくいくとは限りませんが、またそのためにかなりの犠牲と努力が必要になってくるでしょう。だから大切なことは、サラリーマンであろうが、主婦であろうが、絶えず自分の持っている多様な潜在的な可能性に開かれている、そう感じることでできる社会でないといけないということです。年齢や男女差や学<sup>(注3)</sup>レキ差などで、その可能性が閉じられることがない社会。それこそが本来の意味で、自由な社会だといえるのです。

それでは、なぜ日本はケーパビリティの少ない社会になってしまったのでしょうか。日本の近代社会を考えていくときに、いろいろな束縛を作り出す源として、いちばんに挙げられるのは、いわゆる「世

間”でしょう。これは、歴史学者の(注3)阿部謹也さんなども言っていました。「世間」という言葉は非常に実体のない(C)曖昧なものだけれど、世間の目が許さない、世間に恥じないように……と、(D)いつも私たちには、世間の目がつきまどっています。

ヨーロッパでは自由を束縛する対象として出てくるのは、「国」や「社会」です。ところが、これは韓国や中国もそうですが、アジアでは(注3)バク然とした「世間」というものが出てくる。そうした目に見えない束縛、実体のない拘束力が強く働いています。

さらに、最近では、「(注4)新自由主義」的な自己責任の考えが、日本でも広がっています。勝者と敗者を生み出す、弱肉強食の厳しい社会に変わりつつあるのです。しかし潜在的な能力を絶えず自由に発掘し、それをチョイスできる——そういう可能性が社会制度的に整っている社会であれば、逆に自由な冒険が可能になります。イギリスやアメリカは(注3)カク差が大きい反面、敗者復活戦が(注4)に容易な社会のようにみえます。

ところがこの新自由主義をそのまま日本に持つてくると悲惨です。潜在的な能力を制度的に摘み取られている社会で、自己責任に基づく自由競争をやらされると、これはもう過(注5)コクです。だから潜在的な能力が生かされる社会にしないと、この先、日本はもっと自殺者が増えるでしょう。

結局、自由というのは(注5)E)社会的な裏付けがあって、初めてかなえられるということなんです。だから自由というのは、個人的な内に関わる問題であると同時に、極めて社会的な問題でもあるのです。たとえばセーフティネットという考え方があります。サーカスの空中ブランコをやるときに、下に安全ネットがある場合とない場合があります。観客はネットが外されると「オウー!」「すごいな」とどよめきます。落っこちれば死ぬわけですからね。でも、やっている人に見てみたら、ネットがあったときの方が、観客がさらに(F)どよめくような、おそらくもっと大胆なことができるはずなんです。

それと同じように、社会にそのようなセーフティネットがあつて、初めて大胆に、積極的に自由な選択ができるのです。ところが今はそうなっていない。

フリーターの人たちが、この先、もう一回、大学に入ろうとか、方向転換してカメラマンになろうとか考えたとき、自由にチョイスできるようなセーフティネットをこれから(注6)E)作っていきけるのか。そうでないと、この人たちは見捨てられていくことになります。

フリーター以外の人たちだってそうです。年金や医療保障がなくなったら、金銭的に苦勞するだけでなく、今までのように自由ではいられなくなるということを意味します。自由という問題は、そういう社会的な問題とあわせて考えていかないといけないのです。

(姜尚中『ニッポン・サバイバル』集英社新書、による)

注1 潜在能力・インドの経済学者アマルティア・センのケーパビリティ論。人々が自ら価値を認める生き方を選ぶための潜在能力を拡大することで、人間の本質的な自由が増大すると考える。

注2 自殺者・本文章が執筆された二〇〇四年当時のWHOの統計によると、日本の自殺率は世界第一〇位。先進国G7諸国の中では一位。

注3 阿部謹也・歴史学者。独立した個人からなる西洋社会にはない、日本特有の「世間」について、社会学的にアプローチした。

注4 新自由主義・政府などによる規制をなくして、自由に競争しようという考え方。

問一、傍線部（あ）（お）のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の各群の1～4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。

【あ：解答番号1、い：解答番号2、う：解答番号3、え：解答番号4、お：解答番号5】

- |     |     |       |        |       |       |
|-----|-----|-------|--------|-------|-------|
| （あ） | 選択シ | 1、シ持  | 2、趣シ   | 3、四シ  | 4、牧シ  |
| （い） | 学レキ | 1、レキ史 | 2、太陽レキ | 3、軋レキ | 4、瓦レキ |
| （う） | バク然 | 1、バク府 | 2、バク大  | 3、バク発 | 4、砂バク |
| （え） | カク差 | 1、カク実 | 2、カク兵器 | 3、企カク | 4、合カク |
| （お） | 過コク | 1、コク使 | 2、コク白  | 3、雑コク | 4、コク明 |

問二、空欄  に入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号6】

- 1、物質的に      2、本質的に      3、観念的に      4、精神的に

問三、傍線部（A）「選択の複線化が可能である社会」としてふさわしくないものはどれか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号7】

- 1、三〇代・四〇代になった主婦が別の道を選べる社会  
2、自己実現するための犠牲と努力などが不要な社会  
3、一度事業に失敗しても、敗者復活戦が可能な社会  
4、人が自殺に追い込まれず、次の展望が開ける社会

問四、傍線部（B）「困難」の類義語として不適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号8】

- 1、至難      2、困却      3、難儀      4、難易

問五、傍線部（C）「曖昧」の語の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号9】

- 1、変わった味がすること  
2、口数が少ないこと  
3、態度や内容がはっきりしないこと  
4、もやがかかって見えないこと

問六、傍線部（D）「いつも私たちには世間の目がつきまっています」とあるが、なぜ、世間の目がつきまとうとケーパビリティの少ない社会になってしまうのか。次の説明文の  X  Y に当てはまる語句としてもっとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

☆「世間」は、 X  Y 力を持っていて、人々の行動を  Y  X 化してしまうから。

X

【解答番号10】

- 1、他人とは異なることをする意欲を抑制する
- 2、公共の福祉のために個人の自由を制限する
- 3、そこに住む人々の文化的な生活を保障する
- 4、事実を隠して人々の目的意識を低下させる

Y

【解答番号11】

- 1、明確
- 2、簡略
- 3、画一
- 4、合法

問七、空欄  に入ることはとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号12】

- 1、比較的
- 2、例外的
- 3、相対的
- 4、模範的

問八、傍線部（E）「社会的な裏付け」とは何か。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号13】

- 1、個人が自分の可能性を模索していけるよう、「国」や「社会」がセーフティネットを整備すること。
- 2、個人がそれぞれの可能性を探し求めるのを妨げる「世間」の力を「国」や「社会」が排除すること。
- 3、弱肉強食の厳しい自由競争による勝者と敗者が生まれないうよう、「国」や「社会」が制度を整えること。
- 4、個人の能力を発掘させるべく、「国」や「社会」が「新自由主義」的な自己責任の考えを推進していくこと。

問九、傍線部（F）「どよめく」のここでの意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号14】

- 1、静まりかえること
- 2、重苦しい空気がただようこと
- 3、ざわざわと騒ぐこと
- 4、悲鳴や怒声があがること

問十、空欄  に入ることはとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号15】

- 1、個人的
- 2、独占的
- 3、受動的
- 4、制度的

二、16～20について、正しい読みを1～4から選びなさい。

【解答番号 16～20】

- |    |    |         |         |        |         |
|----|----|---------|---------|--------|---------|
| 16 | 日和 | 1、にちわ   | 2、ひわ    | 3、ひより  | 4、ひのえ   |
| 17 | 凍瘡 | 1、とうそう  | 2、とうしょう | 3、こうそう | 4、とうこう  |
| 18 | 臥位 | 1、きよい   | 2、しんい   | 3、じんい  | 4、がい    |
| 19 | 頻脈 | 1、ひんみやく | 2、ふんみやく | 3、ほみやく | 4、こうみやく |
| 20 | 凡例 | 1、はんれい  | 2、ばんれい  | 3、ほんれい | 4、ぼんれい  |

三、21～23のカタカナ語の意味としてもつとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 21～23】

- |    |         |        |        |        |         |
|----|---------|--------|--------|--------|---------|
| 21 | グローバルズム | 1、国家建設 | 2、地球主義 | 3、経済発展 | 4、相互依存  |
| 22 | ブルジョア   | 1、取締役  | 2、資本家  | 3、科学者  | 4、医療従事者 |
| 23 | エゴイズム   | 1、利己主義 | 2、個人主義 | 3、共産主義 | 4、理想主義  |

四、24～27の熟語の■に該当する漢字を1～4から選びなさい。

【解答番号 24～26】

- |    |      |     |     |     |     |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 24 | 一目■然 | 1、了 | 2、瞭 | 3、遼 | 4、慄 |
| 25 | ■目八目 | 1、七 | 2、岡 | 3、傍 | 4、黒 |
| 26 | 疑心暗■ | 1、気 | 2、軌 | 3、鬼 | 4、奇 |
| 27 | 悪事■里 | 1、一 | 2、百 | 3、千 | 4、万 |

五、28～30の傍線部の意味としてもつとも適当なものを、それぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号 28～30】

- |    |   |               |
|----|---|---------------|
| 28 | この文化あるいは個性の違いは「文化共同体」の発展のために、必要欠くべからざるものです。 | (加藤淳平『文化の戦略』) |
|    | 1、欠けているだろう                                  |               |
|    | 2、欠けているべきである                                |               |
|    | 3、欠けてはならない                                  |               |
|    | 4、欠けないであろう                                  |               |

29 日本人が、なぜこうした西欧の技艺に取り組んで、しのぎをけずらなければならぬのだろう。

(福田和也『日本人の学問』)

- |             |
|-------------|
| 1、生活の糧とする   |
| 2、激しく争う     |
| 3、不自由な思いをする |
| 4、無駄をはぶく    |

そのあたりは特別景勝地でもなければ、また居ずまいを正すような神威に充ちた環境でもない。

(上田篤『海辺の聖地』)

- 1、座る姿勢を正しくすること
- 2、礼儀作法を身につけること
- 3、緊張して体をこわばらせること
- 4、住むところを新しくすること